

相模原支部長 田中 多輝子 (S56 卒)

相模原市は神奈川県の北西部に位置し人口約72万人、横浜、川崎に次いで3番目の人口を有する市です。また、面積は約329km²。相模原市が市政施行されたのが1954年(昭和29年)であり、その後、津久井郡(津久井町、城山町、相模湖町、藤野町)との合併があり、2010年4月1日19番目の政令指定都市として誕生しました。水源を含む自然が豊かな緑区・市役所など行政施設のある中央区・都市機能をもつ市街地が広がる南区の3区からできています。

現在、小学校は72校、中学校は37校、小中合わせて109校の公立学校があります。その他20校の県立・私立高校があり、箱根マラソンで有名な青山学院大学をはじめ9校の大学・短期大学を有しています。相模原市といえば宇宙航空開発の中でも「はやぶさ」で話題になったJAXAが中央区にあります。国道16号が市の中心部を縦断しており、JR横浜線、相模線の他、小田急線や京王線が重要なアクセスとして利用されています。

さて、友松会相模原支部についてですが現在、校内会員94名、校外会員116名がおります。毎年、定例役員会は4回開催され、様々な行事や課題について話合う場となっています。また、6月には支部総会を開催しております。今年(2017年)は6月18日(日)に、相模原市民会館で総会・研修会・懇親会を友松会副会長の荻田氏をご来賓でお招きして盛大に開催されました。会への出席は29名おり、無事に総会を進行させていただくことができました。その後の研修会では、田島洋子校長(S56卒)が、以前勤務していた鳥屋小学校付近、ご自宅のある上溝地区についての小さな旅をご紹介いただきました。気に留めなければ気づかないような自然の美しさや、地域の脈々と

流れている歴史と息吹を感じる研修会となりました。この研修会は毎年行われており、内容は学校経営についてお話であったり、趣味のお話であったり…、多岐にわたっています。昨年度は、門川秀樹校長(S58卒)が「健康」をテーマに肩こりやストレートネックを治すための研修会が行われ、同校の中村教諭(H8卒)をアシスタントとして、会場で実際に体を動かして、日常的な体のケアについて学ぶことができました。このように毎年、どのようなお話が伺えるのか、参加者はとても楽しみにしております。



【相模原支部総会での様子】



【研修会での発表の様子】



【若い二人のリードで学生歌を熱唱】